



～盗撮カメラに気を付けて～



盗撮対策として、まずは「ながら歩きをしない」ことが大切です。

スマートフォンなどを操作することで周囲への注意ができず、近づいてくる不審者に気づきにくくなります。

隙を見せず、時々背後や周囲に注意を払いながら不審な行動をしている人がいないか確認しましょう。

次に、トイレや更衣室を利用する際には「不審な物がないか必ずチェック」しましょう。

トイレでは、隠しカメラが設置されているかもしれません。

トイレトーパー置き場や

備え付けている観葉植物の裏や、ゴミ箱、

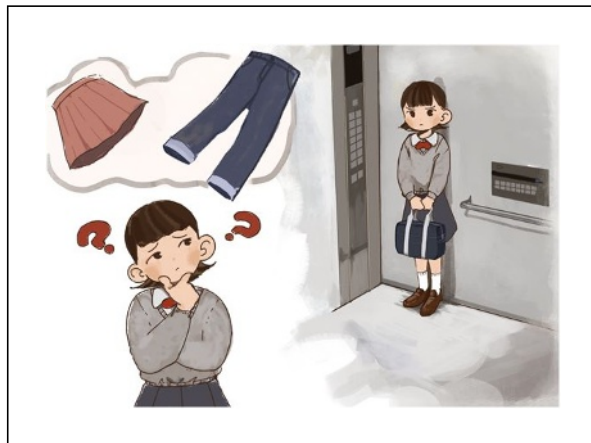
床とドアの隙間などに、隠しカメラが設置されているかもしれません。

まずは、ひと通り周囲を見渡すようにしましょう。





～盗撮カメラに気を付けて～



また、スカートの下から盗撮されることが多いため、
「服装にも注意を払う」ことも大切です。

トップスの胸元などから盗撮されることもあるため、
インナーを来たり、1枚、上に羽織ることも盗撮対策です。

エレベーターでは、密室になるので、
何かあったらすぐに降りられるように
ボタンの前に立って壁を背にして立つことで
背後が空かないようにすることが大切です。





～盗撮カメラに気を付けて～



夜に、外から盗撮されるケースもあるため、
外から家の中の様子が見えないように、
暗い時間帯に家に帰ったときには、
「カーテンを閉めてから電気を点ける」ようにしましょう。

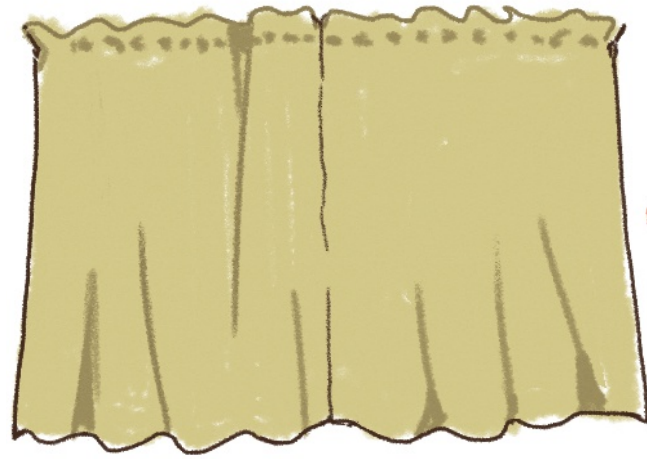
自宅でも、気付かないうちに盗撮や盗聴をされる可能性があります。
こまめに掃除や整理整頓したりすることで、異変に気がきます。

また最近では、
スマホのアプリを使った盗撮被害も増えています。
そのため、自分が入れた覚えのないアプリがないか
定期的にチェックすることも対策になります。

気付かないうちに盗撮や盗聴をされていることは
プライバシーの侵害で、精神的にとっても傷つきます。
自分の身を守れるよう、少しずつ注意を払って対策しましょう。

おしまい、おしまい。





～盗撮カメラに気を付けて～



『盗撮被害』のお話です。

盗撮被害は、
電車やバス、公共施設のエスカレーターやエレベーター、
トイレや更衣室などでも狙われています。

特に、不特定多数が行き交う場所や、
多くの人が集まる場所で盗撮されることが多いです。

多くの人がいる場所では、誰でも自由に行き交っていることから
不審な行動が目にとまらないため、犯行が多発しています。



作成：認定NPO法人好きっちゃ北九州
一般財団法人ハウジングアンドコミュニティ財団
2023年度「住まいとコミュニティづくり活動助成」
絵：山本 凛香